



2023年9月11日

各 位

会 社 名 株式会社シルバーライフ
代表者名 代表取締役社長 清水 貴久
(コード番号：9262 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 管理部長 増山 弘和
(TEL. 03-6300-5629)

サステナビリティ基本方針及び重要課題（マテリアリティ）の特定に関するお知らせ

当社は、2023年9月11日開催の取締役会において、サステナビリティ基本方針の策定およびマテリアリティ（重要課題）を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. サステナビリティ基本方針策定の背景

当社シルバーライフは、「食の観点から誰もが安心して歳を重ねていける社会を作ります」という経営理念に基づき、「自分で調理をすることや買い物に行くことが困難な一人暮らしや要介護の高齢者の方が、手間をかけず、安心して食事をしてもらえるよう、手ごろな価格で弁当を用意し、毎日自宅に届けます。」をミッションとしております。このミッションに基づき、当社は900店舗以上のFC展開による事業拡大を行ってまいりました。

昨今、パリ協定の発効やSDGsの採択などを契機に、気候変動・サステナビリティに対する社会的な要請が高まっており、サステナビリティを前提としたビジネスモデルの変革が必要不可欠となってきております。

このような状況を受け、当社では以下のようにサステナビリティ基本方針を掲げることといたしました。

2. サステナビリティ基本方針

当社は、ステークホルダーと共に気候変動をはじめとする環境問題や様々な社会課題、また当社を取り巻く事業環境における課題に対処してまいります。これらの活動により持続可能な社会の実現に貢献し、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

3. 重要課題（マテリアリティ）の特定

サステナビリティ基本方針に基づき、当社及びステークホルダーにとって重要度の高い対応すべき課題をESGの観点から総合的に評価し、中長期的な企業価値の向上に向けて、特に優先して取り組むべきテーマとして6つの重要課題（マテリアリティ）を特定いたしました。

	重要課題 (マテリアリティ)	特定の背景と今後の取り組み	対処する SDG s
環境 (E)	温室効果ガス排出量の抑制	当社では工場や物流センターの拠点において太陽光発電を導入しており、GHG 排出量の算出においても取り組んでおります。今後は各カテゴリに対して分析し目標を設定して削減に取り組んでまいります。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  13 気候変動に 具体的な対策を 
環境 (E)	廃棄物排出量の削減	当社の工場で発生する食品残渣及び廃プラスチックは毎月重量計測をしております。今後は環境を配慮するために削減する目標を設定して取り組みを行います。	2 気候を ゼロに  11 廃棄物の削減 まちづくりを 
社会 (S)	健康に配慮した商品開発	当社で販売している弁当は、健康に配慮した弁当やカロリー制限、糖質制限、たんぱく調整食等を販売しております。今後迎える最大の後期高齢者層の増加に伴って、高齢化社会に貢献できるように種類や選択肢を増加させることに取り組めます。	3 すべての人に 健康と福祉を 
社会 (S)	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	組織の持続的成長のために人的資本を充実させます。有給取得率や女性管理職比率、残業時間、特定技能及び外国人労働者の採用、障がい者雇用等、今後は目標を設定して取り組んでまいります。	5 ジンダー平等を 実現しよう  8 働きがいも 経済成長も 
ガバナンス (G)	コーポレートガバナンスの強化	当社ではコーポレートガバナンスの強化のため、監査等委員会その他、指名報酬委員会の設置をしております。今後は取締役会の実効性評価を基に実効性を高められるように活動してまいります。	16 平和と公正を すべての人に 
ガバナンス (G)	コンプライアンスとリスクマネジメントの徹底	当社ではコンプライアンス委員会によるコンプライアンス状況の点検、e ラーニングを用いた各種コンプライアンス研修、外部に相談できる内部通報窓口も設置しております。今後も当社が抱えるリスクの抽出とそれに対するアクションプランの策定を行ってまいります。	16 平和と公正を すべての人に 

4. 今後について

今後につきましては、マテリアリティに関する具体的な取り組みと評価指標（KPI）を定め、定期的なモニタリングを行ってまいります。また、マテリアリティについては、定期的に見直しを実施してまいります。これらの活動に関しては、全体的に推進するための枠組の整備を検討してまいります。

以上